



株式会社和歌山建材リサイクルセンター

2021 年度 環境経営レポート

(対象期間：2021 年10月1日～ 2022 年 3月31日)

※取組対象期間は2021年10月1日～であるがレポートは期初4月からのデータで集計



作成日： 2021年11月10日
更新日： 2022年 5月10日

目 次

項 目	ページ
ご挨拶	3
環境経営方針	
組織の概要・認証登録の対象組織、活動	4
事業・製品の紹介	5
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5・6
保有許可の内容	7
廃棄物処理フロー	8
主な環境負荷の実績	9
環境経営目標及びその実績	
環境経営計画の取組結果とその評価	10・11
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	12
緊急事態対応訓練	
代表者による全体の評価と見直し・指示	13
これまでの環境活動の紹介・編集後記	



【ご挨拶】

当社は平成9年の創業以来、適正且つ適性な廃棄物の処理と各種再生資源物の製造により、資源循環型社会の形成を目指し、日々努めております。また、造成工事等を通じて社会インフラ整備の一翼を担い、地域社会に貢献する企業としても邁進しております。

近年、ますますクローズアップされ、対応が急務とされる地球温暖化等の環境問題は、全人類共通の課題であり、私たち一人一人、一社一社が、例え小さくとも、確実に継続的な取組みを積み重ねることが肝要だと考えております。

創業して四半世紀を迎えるにあたり、看過することができない地球温暖化問題の解決に向け、エコアクション21を積極的に推進し、地球環境並びに地域社会の更なる発展に寄与する企業を目指して参ります。

【環境経営方針】

<環境経営理念>

株式会社和歌山建材リサイクルセンター（以下、「当社」という。）は、事業活動を通じて、環境保全と社会貢献に資する企業です。地球温暖化問題に真摯に向き合い、地域の環境活動に従業員一丸となって自主的・積極的な活動に励み、継続的な改善に取り組みます。

- リサイクルを通じて地球環境にやさしい社会の実現を目指します。
- お客様のニーズに応え、顧客満足度（CS）の向上を目指します。
- 従業員全員が心満たされ、豊かさを感じられる職場づくりに努めます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制等や当社が同意する要求事項を遵守する。
2. 各種の省エネルギー活動等により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制に努める。
 - ・建設部は、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
 - ・環境部は、受託廃棄物のリサイクル率100%の維持継続に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 環境に配慮した工事・中間処理に努めます。
6. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2021年11月10日

改定日：-----

代表取締役

東 泉 弘

□組織の概要

更新日：2021年12月7日

- (1) 名称及び代表者名
株式会社和歌山建材リサイクルセンター
代表取締役 東 宗弘
- (2) 所在地
本社・第一工場 和歌山県和歌山市西浜1660番地の331
第二工場 和歌山県和歌山市雑賀崎泊り新開2007番1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 専務 川端 拓 TEL：073-446-3196
担当者 事務局長 西岡 隆
総務部 仲西 直也
- (4) 事業内容
一般／産業廃棄物処分業、一般／産業廃棄物収集運搬業、建設業（土木）、一般貨物自動車運送業
- (5) 事業の規模
法人設立 平成9年3月24日
資本金 20 百万円
売上高 1,170 百万円

	本社	第一工場	第二工場	合計
従業員 名	39 名	4 名	2 名	45
延べ床面積 m ²	181.57 m ²	446.5 m ²	259.14 m ²	887.21

受託した産業廃棄物の処理量

収集運搬量	10,580 t		
中間処理量	104,135 t	うち再資源化量	104,135 t

車種	台数	備考
10 t ダンプカー	13 台	
4 t ダンプカー	2 台	
3 t ダンプカー	3 台	
2 t ダンプカー	2 台	

主要設備

名称	台数	備考
一次破砕機	2 基	第一工場、第二工場 各一基
二次破砕機	1 基	第一工場
篩い機	4 基	第一工場：一基、第二工場：三基
汚泥処理機	2 基	第二工場（据付型、移動式 各一基）

主要重機

名称	台数	備考
バックホウ	4 台	
ショベル・ローダー	2 台	

- (6) 事業年度 2021年4月1日～ 2022年3月31日

□認証登録の対象組織、活動

登録組織名：株式会社和歌山建材リサイクルセンター
対象事業所：本社・第一工場
第二工場

対象外：なし

活動：一般／産業廃棄物処分業、一般／産業廃棄物収集運搬業、建設業（土木）、一般貨物自動車運送業

□事業・製品の紹介

がれき類を再利用した再生砕石や再生砂



環境部・運輸部・建設部が当社事業の三本柱です



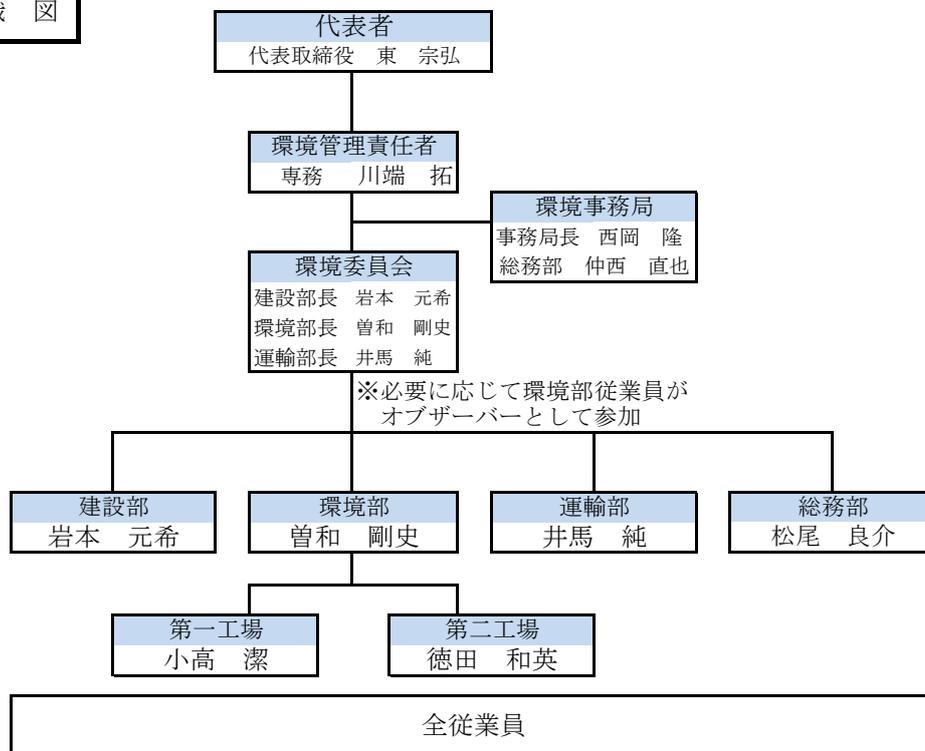
卓越した技術、充実の設備や機械を操り、安全で確かな施工を目指しております



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2021年12月15日

組織図



役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表取締役 (社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・環境経営目標、環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、エコアクション21の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計、事業部長との連携による教育訓練 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） ・緊急事態への対応手順書の策定及び試行・訓練の実施。又、その内容を記録する（環境経営レポートにより公開）
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
事業部長 (環境部・建設部 ・運輸部・総務部)	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門における教育訓練を必要に応じて実施（環境事務局との共催でも可） ・自部門に関する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書が有れば、その作成と手順書の運用 ・自部門に必要な想定される事故、緊急事態があれば、対応の手順書の作成 ・上記の策定がある場合は、試行・訓練を実施し記録を作成する ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境保全・配慮への取組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□保有許可の内容

一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備考
和歌山市	第0820-0002号	令和2年10月1日	令和4年9月30日	

一般廃棄物処分業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類												
					無機性汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類			
和歌山市	第082010002号	令和2年6月4日	令和4年6月3日	中間処理													
				破砕 発酵液化		○		○						○	○	○	

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類													
					燃え殻	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	銻さい	がれき類	動物の死体
和歌山県	第03000049526号	令和2年5月9日	令和7年5月8日	無		○		○	○	○	○	○	○	○		○		
大阪府	第02700049526号	平成30年11月11日	令和5年11月10日	無		○	○	○	○	○	○		○	○		○		

産業廃棄物処分業許可の内容

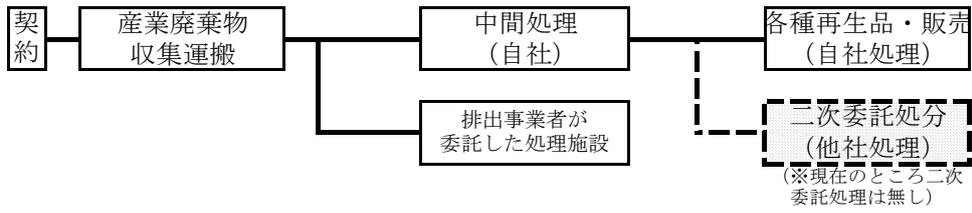
許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類												
					無機性汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類			
和歌山市	第07220049526号	平成29年8月8日	令和4年8月7日	中間処理													
				破砕 発酵液化 造粒固化										○			
和歌山県	第03020049526号	平成30年1月18日	令和4年12月5日	造粒固化	○												

一般貨物自動車運送業許可の内容

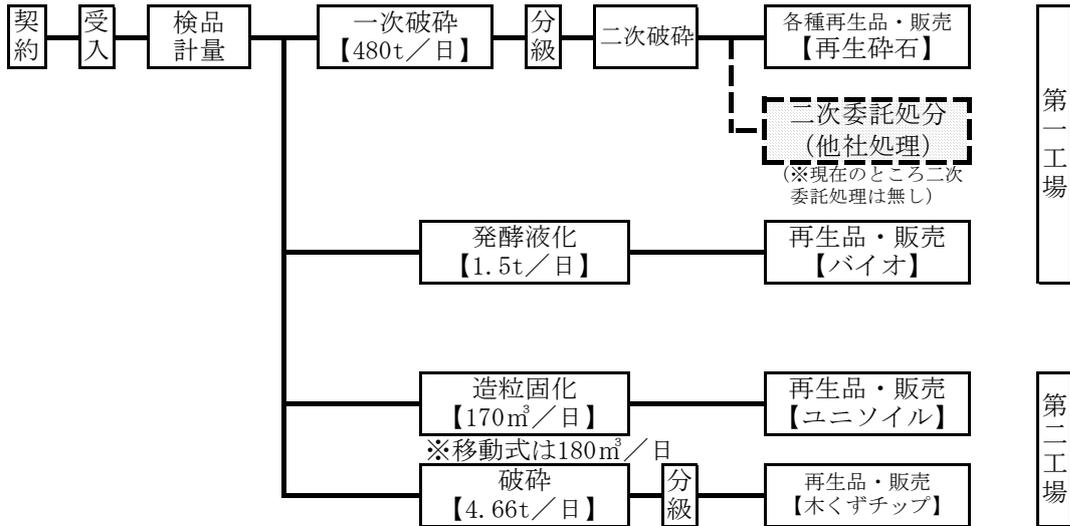
許可	許可年月日	許可番号
近畿運輸支局長	平成19年11月13日	近畿自貨第720号

□ 廃棄物処理フロー

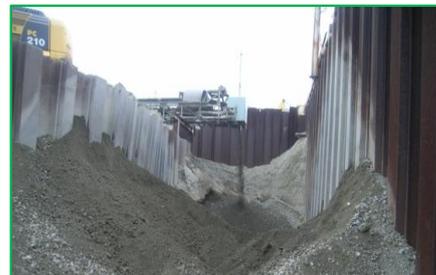
● 産業廃棄物収集運搬業



● 産業廃棄物中間処理業



【資源循環】がれき類から再生砕石を製造し、路盤材等として使用されます



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		1,432,491	
受託収集運搬量	トン		10,580	
受託中間処理量	トン		104,135	
受託最終処分量	トン		0	
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	キロ		2,090	
産業廃棄物排出量	トン		4,974	
総使用水量	m ³		1,271	
※二酸化炭素排出係数(事務所・工場)【中央電力】			0.388	0.388
※二酸化炭素排出係数(工事現場)【関西電力】			0.318	0.318

kg-CO₂/kWh
kg-CO₂/kWh

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

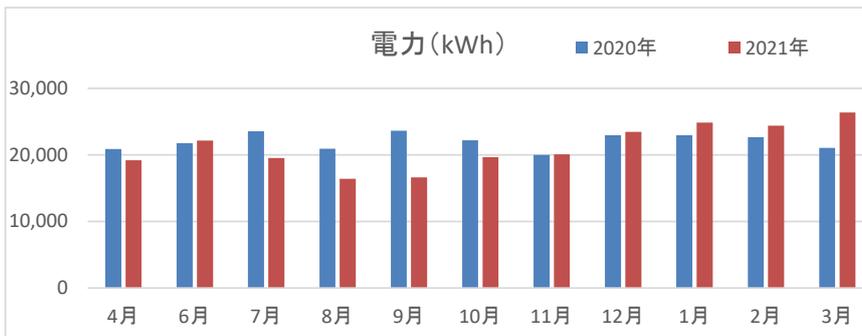
項目	年度	2020年	2021年		評価	2022年	2023年
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減 原単位	kg-CO ₂	101,477	100,462	97,915	○	99,448	98,433
	基準年度比	-	99%	96%		98%	97%
	kg-CO ₂ /千円	0.087	0.086	0.063	○	0.085	0.084
自動車・重機燃料による 二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,331,014	1,317,704	1,404,202	×	1,304,394	1,291,084
	基準年度比		99%	105%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	1,432,491	1,418,167	1,502,117		1,403,842	1,389,517
一般廃棄物の削減	kg	2,090	2,069	1,482	○	2,048	2,027
	基準年度比	-	99%	71%		98%	97%
建設副産物の再資源化率 の維持	%	99.75%	99.75%	100%	○	99.75%	99.75%
受託廃棄物のリサイクル率 100%維持	%	100%	100%	100%	○	100%	100%
水道水の削減	m ³	1,183	1,159	1,068	○	1,136	1,112
	基準年度比	-	98%	90%		96%	94%
環境に配慮した工事		行動目標 (次項による)					

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

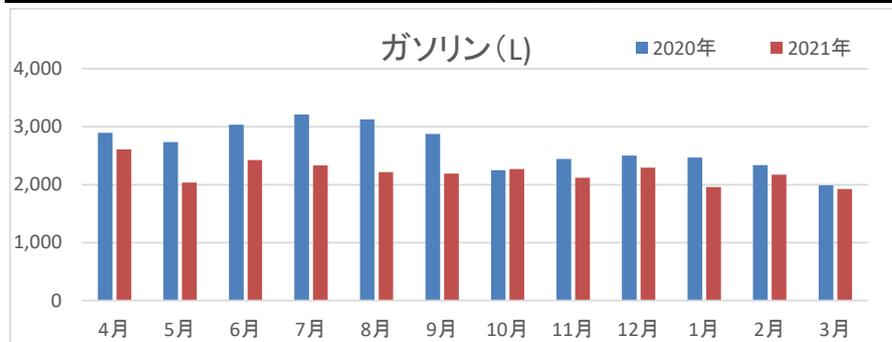
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	年間を通じての目標は達成していますが、取組み以降の5カ月間における単月実績は目標未達が続きました。電力消費量が多い工場の業務量の増加が原因と思われます。次年度は工場の稼働に際し、無理や無駄な運転がないかを検証し、効率的な稼働に努めてください。事務所内の省エネ活動（無人箇所の消灯等）の取組みは良くできておりました。
原単位目標	○	
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	◎	
・不要照明の消灯	◎	
・効率的なライン操業の推進	△	
・設備の適切な維持管理	△	

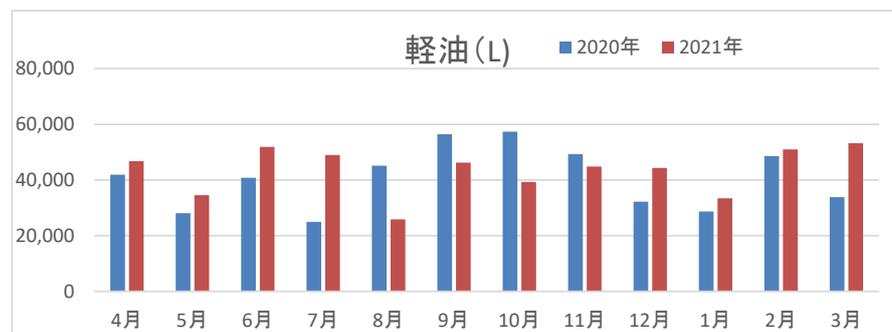


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	20,908	18,228	21,784	23,540	20,930	23,647	22,218	19,999	22,979	22,979	22,658	21,080
2021年	19,192	19,497	22,165	19,525	16,437	16,646	19,683	20,071	23,466	24,873	24,405	26,398

自動車・重機燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	12～3月の繁忙期の使用量の増加が通年の結果として大きく影響しました。業務量が増えれば、車両・重機の使用量の増加となるので、やむを得ない部分もあるかと思いますが、効率的な運行等に注力する工夫をお願いします。運輸部（ダンプ）の燃費は1.7%上昇しておりますので、各人の環境配慮を念頭にした運転がうかがえる点は良好な結果として評価できます。
・アイドリングストップ（自動車、重機）	○	
・エコドライブ（自動車）	◎	
・省燃費運転（重機）	○	
・効率的な収集運搬・配送（自動車）	△	

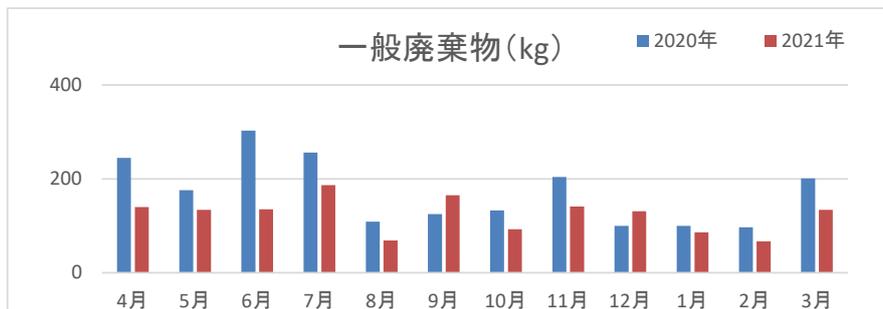


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	2,896	2,735	3,037	3,209	3,130	2,877	2,250	2,444	2,502	2,467	2,338	1,990
2021年	2,608	2,039	2,427	2,333	2,218	2,191	2,269	2,119	2,296	1,958	2,174	1,928



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	41,913	28,131	40,813	25,005	45,114	56,436	57,350	49,254	32,195	28,700	48,532	33,791
2021年	46,755	34,568	51,904	48,936	25,857	46,278	39,301	44,859	44,324	33,436	50,991	53,173

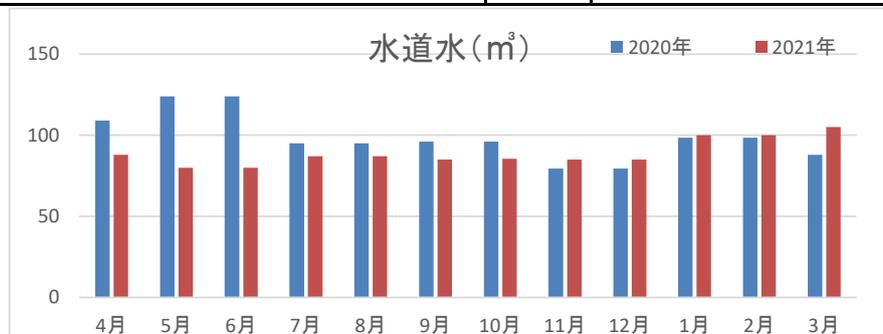
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	10月の取組み以降、目標値を全て充足しており素晴らしい結果と判断できます。基準年比で約600kg/年の減量を達成できたことは、焼却由来の二酸化炭素の抑制に寄与できたものと大いに評価します。
・分別の徹底	◎	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	◎	
・MIX古紙のリサイクル化の導入	◎	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	245	176	303	256	109	125	133	204	100	100	97	201
2021年	140	134	135	187	69	165	93	141	131	86	67	134

建設副産物の再資源化率の維持	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	中期計画である再資源化率の100%を既に達成したことは大きな成果といえます。今後も達成が継続するためにも、既存の処理（再資源化）施設だけでなく、新たな処理（再資源化）施設の開拓も継続して実施して下さい。
・分別の徹底	◎	
・再資源化先の開拓	△	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	散水などの環境向上の要因もあるかと思いますが、取組み以降の各月は、目標値をやや上回る傾向が続きました。小さな積み重ねによって、目標値を達成できる程度の方も散見されますので、今後は各自のより一層の節水意識の向上に努めてもらいたと思います。
・節水励行の掲示	◎	
・地下水の更なる有効利用	△	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	109	124	124	95	95	96	96	80	80	99	99	88
2021年	88	80	80	87	87	85	86	85	85	100	100	105

環境に配慮した工事	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・顧客、ステークホルダーからのクレーム削減 (外部コミュニケーションの充実)	○	騒音、振動、粉じん発生などの環境影響面においては、規制値の充足を含め管理が行き届いていたと評価します。その結果、周辺企業からのクレーム、行政からの指導もありませんでした。来期も引き続いて、取り組んでもらいたと思います。
・環境、騒音、大気（粉じん）への配慮（基準値の順守）	◎	
・設備機器のメンテナンス強化（チェックリストの活用）	△	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一廃・産廃／収集運搬業、中間処理業、自社排出廃棄物の適正処理
建設リサイクル法	造成工事、建設副産物
資源有効利用促進法	パソコン廃棄時のリサイクル
家電リサイクル法	特定家庭用機器（テレビ等）の廃棄時のリサイクル
騒音規制法	破碎機・篩い機・ベルトコンベアー
振動規制法	破碎機・篩い機・ベルトコンベアー
和歌山県公害防止条例	破碎機・篩い機・ベルトコンベアー操業時の設備構造基準
労働安全衛生法	重機等の運転（有資格者）
貨物自動車運送事業法	一般貨物自動車運送業
道路運送車両法	自動車の運行
道路交通法	自動車の運転
自動車リサイクル法	自動車の保有（廃車時のリサイクル）
自動車NOx・PM法	トラック（排ガス基準）
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・使用重機のエアコン（点検）
当社が同意する要求事項	SDGs、カーボンニュートラル（※他社からの要求事項は現在のところなし）

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。 } 【2022.2.1確認実施】
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 津波の発生		
■実施日： 2021年12月22日（水）	■実施場所： 本社応接室・設定避難先への避難ルート	
■参加者： 川端専務・松尾課長・畠中・西岡・仲西	■実施内容： ・図上防災訓練・避難訓練	
■評価： 図上防災訓練ではハザードマップを用いて、津波の到達状況、浸水エリアの危険な範囲を参加者が把握することができた。又、実際の避難訓練では、想定したルート上での危険が予測される場所等を確認できたり、想定した避難時間よりも数分早く避難地へ到達できることが分かった。図上防災訓練を含め、非常に有意義な訓練が実施でき、マニュアルの有効性が確認できた。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
■実施状況の様子		
<div data-bbox="252 1234 624 1290" data-label="Caption"> <p>図上防災訓練</p> </div> <div data-bbox="220 1296 663 1599" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="280 1608 624 1639" data-label="Caption"> <p><使用したハザードマップ></p> </div> <div data-bbox="288 1639 592 2007" data-label="Image"> </div>	<div data-bbox="695 1234 970 1290" data-label="Caption"> <p>(株)東組までの避難訓練</p> </div> <div data-bbox="730 1290 938 1321" data-label="Caption"> <p><避難経路確認></p> </div> <div data-bbox="695 1321 970 1509" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="711 1509 954 1541" data-label="Caption"> <p><避難経路を歩く></p> </div> <div data-bbox="695 1541 970 1729" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="695 1729 970 1917" data-label="Image"> </div>	<div data-bbox="1034 1234 1378 1290" data-label="Caption"> <p>和歌山県立星林高校までの避難訓練</p> </div> <div data-bbox="1102 1290 1310 1321" data-label="Caption"> <p><避難経路確認></p> </div> <div data-bbox="1066 1321 1347 1509" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1066 1509 1310 1541" data-label="Caption"> <p><避難経路を歩く></p> </div> <div data-bbox="1066 1541 1347 1729" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1066 1729 1347 1917" data-label="Image"> </div>

